

ひふみ投信 月次ご報告書

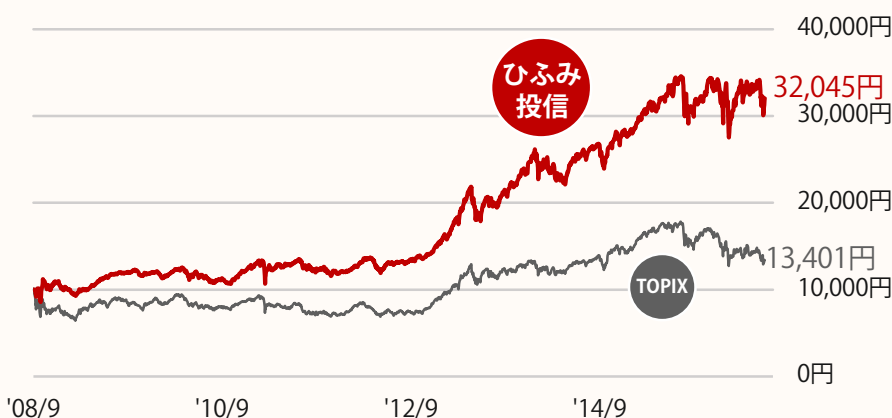
追加型投信/内外/株式

レオス・キャピタルワークスよりお客様へ

お客様の資産形成のパートナーに「ひふみ投信」をお選びいただき、誠にありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告いたします。

運用実績

基準価額の推移（日次）



作成基準日：2016年6月30日

※当レポートで言う基準価額とは「ひふみ投信」の一万口あたりの値段のことです。また信託報酬控除後の値です。

※ひふみ投信の当初設定日（2008年9月30日）を10,000円として指数化し、基準価額のグラフや設定来の運用成績の表を作成しています。

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXとは東証株価指数のことです。東京証券取引所第一部に上場されているすべての銘柄の時価総額（株数×1株当たり時価）の合計を指数化して算出され、日本の株式市場全体の動きをあらわすともいえます。TOPIX（配当込み）とは、配当収益を考慮して東京証券取引所が算出・公表している指数です。

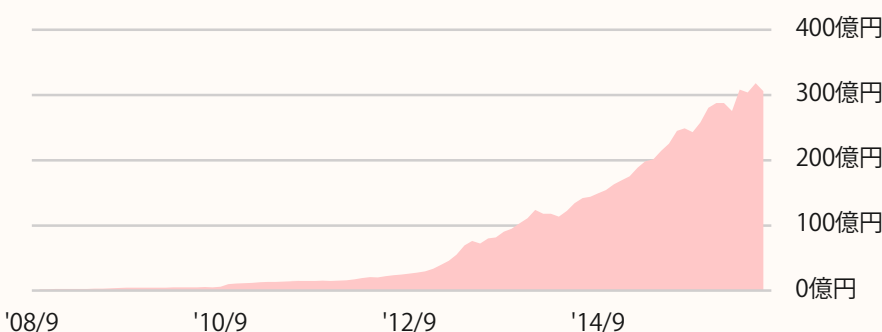
※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入銘柄比率や運用実績を表しています。また運用実績など%表記の値については小数点第二位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※受益権総口数とは、お客様に保有して頂いている口数合計です。

※ひふみ投信は分配金再投資専用の投資信託です。

※当資料では「ひふみ投信マザーファンド」のことを「ひふみ」と略する場合があります。

純資産総額の推移（月次）



運用成績

	1ヶ月	3ヵ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ひふみ投信	-5.9%	-5.4%	-6.5%	-2.6%	71.4%	220.5%
TOPIX	-9.6%	-7.4%	-18.5%	-22.0%	16.6%	34.0%

ひふみ投信の運用状況

基準価額	32,045円
純資産総額	305.9億円
受益権総口数	9,547,845,305口

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第3期	2011年9月	0円
第4期	2012年10月	0円
第5期	2013年9月	0円
第6期	2014年9月	0円
第7期	2015年9月	0円
設定来合計		0円

資産配分比率などの状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	1,130.93億円
組入銘柄数	118銘柄

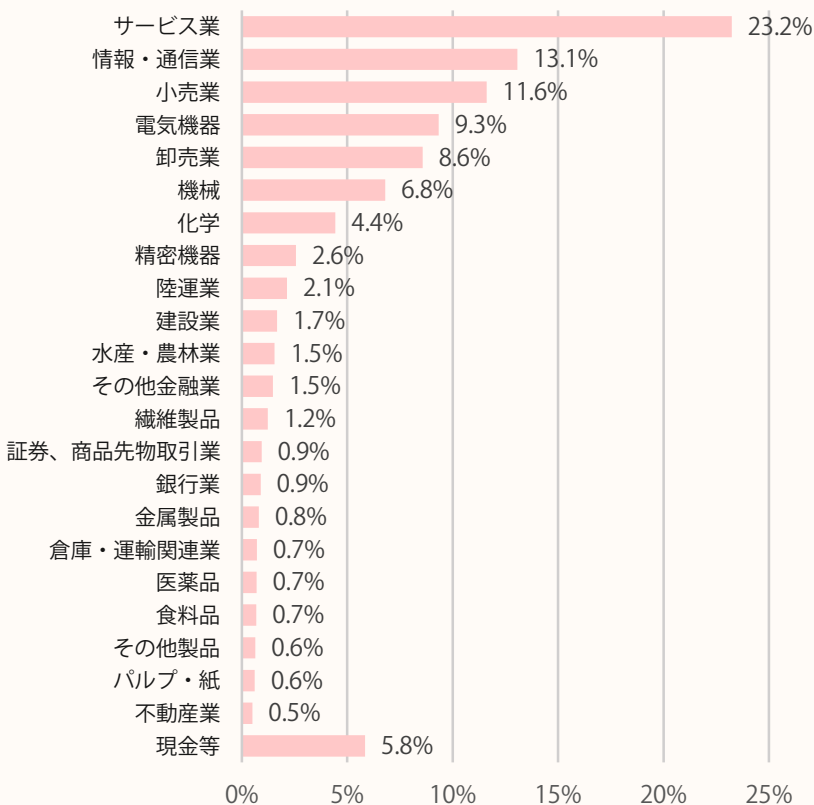
資産配分比率

国内株式	94.2%
海外株式	0.0%
現金等	5.8%
合計	100.0%

市場別比率

東証一部	79.3%
東証二部	1.5%
マザーズ	5.8%
JASDAQ	7.6%
現金等	5.8%
合計	100.0%

業種別比率



ひふみ投信 投資信託財産の構成

ひふみ投信マザーファンド	98.9%
現金等	1.1%
合計	100.0%

※ひふみ投信は、ひふみ投信マザーファンド（親投資信託）を通じて実質的に株式へ投資しています。

※「資産配分比率」「市場別比率」「業種別比率」はマザーファンドの対純資産比率にて表示しております。

※現金等には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※業種別比率について：東証33業種分類を用いて表示しています。非保有の業種は表示されません。

銘柄紹介（組入比率1～10位）

	銘柄名	銘柄コード	本社所在地	上場市場	業種	組入比率
	企業ロゴ等	銘柄紹介				
1	あい ホールディングス 	3076	東京	東京一部	卸売業	3.2%
		防犯カメラ、建設設計、銀行や病院のカード発券機まで事業領域は多岐に渡る。国内外の景気が悪化する環境下でも、創業者の佐々木秀吉氏が主導するM&Aにより安定成長を継続している。				
2	SCREENホールディングス 	7735	京都	東京一部	電気機器	2.4%
		半導体製造装置の大手。ウエハ洗浄装置では世界シェア上位。半導体だけでなく、液晶製造装置や印刷機器も展開する。メモリ需要の拡大に伴う洗浄装置の需要拡大が期待される。				
3	アウトソーシング 	2427	東京	東京一部	サービス業	2.4%
		土井春彦氏の強いリーダーシップの下、製造業の人手不足を背景として成長を続ける人材派遣・請負会社。近年では、国内外の人材派遣会社を買収し、事業ポートフォリオの拡大を図っている。				
4	堀場製作所 	6856	京都	東京一部	電気機器	2.0%
		社是「おもしろおかしく」を追求するベンチャースピリッツを持った京都の老舗企業。エンジン計測器で世界市場8割を占める独立系の分析機器大手。自動車から医療まで事業領域は多岐に渡る。				
5	ミスミグループ本社 	9962	東京	東京一部	卸売業	1.9%
		FAや金型用部品の専門商社ミスミを中核として主に国内外の生産現場に向けたサービスを行う。2300メーカー、1200万点の機械部品を1個から送料無料でお客様の手元に届けるサービス力に強み。				
6	セプテーニ・ホールディングス 	4293	東京	JASDAQ	サービス業	1.9%
		インターネット広告を軸にマーケティング支援サービスを展開。社は「ひねらんかい（関西弁で知恵を出そうという意味）」を合言葉に、広告事業に加え電子マンガなど事業領域を拡大している。				
7	ダイフク 	6383	大阪	東京一部	機械	1.9%
		コンサルティング、設計、製造、据付などをワンストップで請け負う、保管・搬送システム企業。インターネットショッピング拡大が物流業界の人手不足に拍車をかけており、企業の機械化投資が進む。				
8	ニコン 	7731	東京	東京一部	精密機器	1.8%
		カメラおよびレンズ、セミコンダクター装置、眼鏡、測定機器などを製造。FPD露光装置が好調。一眼レフ市場はブーム前の規模まで市場が縮小し、コア・ユーザーに対する高単価製品の販促による利益率改善効きやすい環境に。				
9	GMOペイメントゲートウェイ 	3769	東京	東京一部	情報・通信業	1.8%
		決済処理サービス企業大手。ネット・ショッピングの普及を背景に高成長が安定的に継続する。相浦一成氏の強いリーダーシップの下、国内では大手銀行と業務提携を進め、海外では決済関連企業への投資を行う。				
10	ウェルネット 	2428	東京	東京一部	サービス業	1.7%
		コンビニ等での決済代行大手。プリペイド型電子マネーや高速バスなどの電子チケットサービス事業が拡大。日本の電子商取引市場（BtoC）の規模は成長を続けており、追い風を受ける。				

※「組入比率」はマザーファンドの対純資産比率です。

投資環境（株式市場等での出来事）について

6月の株式相場は、米雇用統計悪化や日銀・日本政府への失望、そして何よりも英国の欧州連合（EU）離脱（Brexit＝ブレグジット）が投資家心理を大きく冷やし、月末の日経平均株価は前月比9.6%安の15,575.92円に大幅下落しました。

6月の日経平均株価は軟調なスタートとなりました。1日には安倍首相が消費増税の延期を発表しましたが、事前期待が高まっていた財政出動に関しては具体策に触れなかったことから市場の失望を誘い、マーケットは円買い、株売りで反応しました。

月半ばには、EU離脱か否かを問う国民投票の事前世論調査で離脱派の増加が顕著になりました。英国はEUに残留するとの見方が強かったため、EU離脱が現実味を帯びたことで、英・EU経済を減速させ、各国の財政に悪影響を及ぼすのではないかとの見方から世界的にリスク選好度が大きく低下しました。加えて米FOMC（米連邦公開市場委員会）では雇用統計の悪化等を背景に利上げ慎重スタンスが示されて、景気先行き見通しの不透明感が増すこととなりました。こうした中、日銀政策決定会合での現状維持を嫌気した円買いも進んで米ドル/円レートが約2年ぶりの水準まで円高進行するなか、日経平均株価も4カ月ぶりの安値水準まで売り込まれました。

その後の世論調査では再び残留派が巻き返しましたが、実際の国民投票では英国のEU離脱派が勝利しました。投票結果が発表されると米ドル/円は一時100円割れ、日経平均株価は東日本大震災時以来の下落率を記録して年初来安値を更新するなど、世界的に軽いパニック状態に陥りました。しかしEU離脱の手続き完了には少なくとも2年以上の時間を要することから短期的な影響は限定的との見方が台頭した他、各国の政策当局への取り組み期待から狼狽売りは短命に終わり、日経平均株価は一先ず落ち着きを取り戻して月末を迎えました。



トレーディング部長
岡田 雄大

運用責任者よりお客様へ

運用状況について

英国のEU離脱が現実のものとなったことで、6月の市場は波乱の展開となりました。一時的にせよ、1ドル99円台に、日経平均株価は15,000円を割り込むような状況の中、「ひふみ投信」では従来から得意とする地味で地道に成長する銘柄への投資を継続しています。為替の円高進行、外部環境の悪化による景気後退局面でも成長の見込める企業への投資を進めはじめており、今後の運用で詳しくご説明します。

今後の運用について

英国の国民投票におけるEU離脱派の勝利は、世界中に大きな驚きを持って受け止められ、世界の株式市場が大きく下落しました。今後の影響の見極めは難しいですが、世界的に景気後退期への移行が明確になりつつあります。米国も利上げを続けるような景気の力強さはなく、利下げを決断する可能性もあります。

不況期には不況期の投資方法があり、ひふみの運用では、過去の不況期においても日経平均株価などのインデックスを上回る成果を出してきました。一般的に大企業の業績は、景気が良いときには改善し、景気が悪くなると悪化します。中堅企業や小型企業でも基本的には同様なのですが、その中の一部にはニッチな分野などで着実に成長し企業業績を伸ばしている会社が数多く存在します。私たちはそのような会社への投資が得意であるので、インデックスを上回ることが可能なのだと考えています。

国民投票でEU離脱派の勝利が決定するまでは、日本の循環的な景気回復が秋くらいから始まることもあるのではと考えていましたが、現在では少なくとも冬まで後退したと考えています。よってやや保守的な銘柄構成に戻していくことを検討しています。特に4月～6月に減らしたデフレ関連銘柄（デフレ経済になると恩恵を受ける銘柄）の比率を高めていくことが挙げられます。今後とも全力を尽くして運用しますので、よろしく願いいたします。



代表取締役社長
最高投資責任者
藤野 英人

※組入比率など運用についての記述は、すべてひふみ投信マザーファンドに関するご説明です。

運用部からのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用部のファンドマネージャー・アナリストのコメントを集めました。多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今回のトピック

英国にまつわる思い出



藤野 英人
代表取締役社長
最高投資責任者

英国は前々職の時に一年弱、ロンドンで仕事をしていました。英国は独特のブラックユーモアがあり、英語以上にその感覚になれるのが大変でした。一方で、人種差別も少なく、仕事はしやすいところでした。ただシリア難民以降、その雰囲気も変わってきたのでしょうか。早く落ち着いてほしいです。



湯浅 光裕
取締役運用本部長
シニア・
ファンドマネージャー

何も食わずに黒いビールをず〜っと飲んでる人がたくさんいる。体制に不満を持った人たちが時に暴力的に主張する一方、ゴルフをしながら長い夕暮れ時を楽しく過ごす人々もいる。子供の頃は、毎日のように英国に入国し友人と遊び、夕方家に帰ってきていました。(友人のお父様は日本の英国大使館にお勤めでした)



渡邊 庄太
運用部長
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

20年以上前に英国で制作され、NHKでも放映されたシャーロックホームズのドラマが大好きで、ロンドン訪問時にベーカー街も訪れました。ちょっとした台詞にも英国人の精神性が垣間見られたような気がして、とっても印象深かったですね。



八尾 尚志
シニア・アナリスト

あらゆる国籍や民族をバックグラウンドに持つ人達が世界から集まる唯一無二のコスモポリタンな街、それがイギリスの首都ロンドンです。そして私が世界で一番好きな街の一つでもあります。

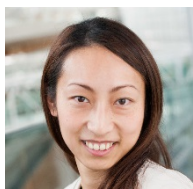
そこにはアジア的な「緩さ」も同居しています。地下鉄が時間通りに来ない、乗っていたら突然の運転休止で降ろされる、乗っている最中に行き先が突然変わる、その際の車掌の案内が強烈なインド訛りの英語で乗客全員が理解できずお互いに相談する、なんてことも日常茶飯事です。一方で、洗練された人達で賑わうハイエンドなレストラン(多くはシティ近辺にあり)やハイファッションもあります。

ロンドンには3年近く住み、その間、湖水地方やコッツウォルズをはじめとして英国内の様々な場所を車で旅して回りました。そこはロンドンとは全く違った風景が広がっており、ピーター・ラビットでありエミリー・ブロンテでありカズオ・イシグロの世界でもあります。こういう風景や欧州との関係性を見ていると「二枚舌外交」の意味がよく分かります。尚、まづいまづい言われるイギリスの食事ですが、「イングリッシュ・ブレックファスト」は結構美味しいですよ(笑)。



栗岡 大介
シニア・アナリスト

関東圏中心に展開するバー・HUB(ハブ)は英国パブを参考にして運営されています。デフレや酒離れが叫ばれる中でも、業績は好調です。(※1) 背景には、SNS以上の「繋がり」を求める人の増加があると考えます。HUBのようにどんな環境でも成長する企業は国内に多くあり、Brexitで不安定な市場が続く今こそ、地に足をつけ、長期的な視座を持った運用を心がけたいと思っています。



樋口 直子
シニア・アナリスト

イギリスは一度も訪れたことがなく、友人もおらず、そして天気が悪く飯がまずいと聞いているので、私にとってとても縁遠い国なのです。でも、スコットランドのスカイ島にはいつか行ってみたいと思っています。そこにはタリスキーというシングルモルトウイスキーの蒸溜所があり、多くの野生動物が暮らす自然豊かな場所だそうです。そこで生み出されるウイスキーを大自然の中で味わいたいと思っています。



佐々木 靖人
シニア・アナリスト

英国には行ったことがなく、現地のことはよくわからないのが本音です。20歳のときに見た、労働階級の鬱憤を爆発させた70年代の音楽シーンを撮影した映画「The Filth and the Fury(邦題NO FUTURE: A SEX PISTOLS FILM)」では、移民に対して怒り狂う白人中年の男性が出てきます。今回のドタバタをニュースを通して見ていると、移民増加が本質的な原因だったか否かは別として、あの男性が頭をよぎります。

※1 個別銘柄を推奨するものではありません。また当ファンドでの組入れをお約束するものではありません。



ひふみ投信の概要

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください

商品分類	追加型投信／内外／株式	
当初設定日	平成20年10月1日	
信託期間	無期限	
決算	毎年9月30日（休業日の場合、翌営業日）	
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。	
お申込み	お申込単位	10,000円以上1円単位の金額指定でお申し込みください。 なお、収益分配金の再投資は、1円以上1円単位となります。
	お申込価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額となります。
	お申込受付日時	当社営業日の9時～15時までとなります。
途中換金	途中換金（解約）単位	1口以上または1円以上
	解約価額	「解約請求受付日」の翌営業日の基準価額となります。
	受付日時	当社営業日の15時までとなります。 解約のご請求は、お電話もしくはひふみWEBサービスによる受付となります。
課税関係	収益分配時の普通分配金、一部解約時および償還時の差益に対して課税されます。 ※今後税法が改正された場合などには、課税関係が変更になる場合があります。 ひふみ投信は、税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。	

ひふみ投信に係るリスク

「ひふみ投信」は、国内外の株式を組み入れるため、株価変動の影響を大きく受けます。一般に株式の価格は、個々の企業の活動や業績、国内および国外の経済・政治情勢などの影響を受け変動するため、株式の価格が下落した場合には基準価額は下落し、投資元本を割り込むことがあります（**株価変動リスク**）。
外貨建資産を組み入れた場合、為替レートの変動の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。投資国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、「ひふみ投信」の基準価額が大きく変動するリスクがあります（**為替変動リスクとカントリーリスク**）。**したがって、お客様（受益者）の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**この他には、流動性リスクや信用リスク等があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

お客様にご負担いただく費用

◇お客様に直接ご負担いただく費用：ありません
申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額は一切ありません。

なお、「振込購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇お客様に間接的にご負担いただく費用：次のとおりです

信託報酬	信託財産の純資産総額に対して年1.0584%（税抜年0.980%）
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年0.0054%（税抜年0.005%） （なお、上限を年間54万円（税抜50万円）とします。当該上限金額は契約条件の見直しにより変更となる場合があります。）
その他の費用	組入価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息など

※「その他の費用」については、運用状況等により変動するものであり事前に料率、上限額等を表示することができません。

当資料のご留意点

○当資料は、レオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。○当資料の作成にあたり、当社では情報の正確性等について細心の注意を払っておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。○当資料に掲載されている市場見通し等は、当資料作成時点での当社の見解であり、将来の株価等の動きやファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更される場合もあります。○投資信託の取得の申込みにあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）の内容を必ずご確認ください。投資判断はお客様ご自身で行なっていただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

レオス・キャピタルワークス（株）
コミュニケーション・センター
電話：03-6266-0123（平日9時～17時）
メール：cc@rheos.jp

（設定・運用）

レオス・キャピタルワークス株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第1151号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

